

2023 年度 東千田アートプロジェクトレポート

【 担当教員 】

学部・学科・専攻	職 名	氏 名
代表者：芸術学部デザイン工芸学科現代表現分野	准教授	古堅太郎
芸術学部デザイン工芸学科現代表現分野・理論	准教授	石松紀子
芸術学部デザイン工芸学科現代表現分野	講師	長坂有希

【 プロジェクトの概要 】

本プロジェクトの実施対象地域である広島市中区東千田町は、原爆投下後わずか3時間で原爆の惨状が撮影された御幸橋から、広島大学跡地である東千田公園までの地域を指している。広島市内中心部に近く、同地域内や近隣には、アートスペース「The Pool」、広島大学東千田キャンパス、日本赤十字社 広島赤十字・原爆病院、広島県立図書館、広島電鉄などが隣接する。

この地域は、かつて広島大学の校舎があり学生の町として賑わっていたが、同大学校舎の大部分が東広島に移転し、住民の高齢化とともに空き店舗が増えている。これにより地域への来訪者も減少し、地域全体の活気がなくなっている。

本プロジェクトは、上述したような地域課題を踏まえ、「地域で学び、地域で活躍できる人材」を育成することを目的とする。そのために、①広島市中区東千田町の地域の歴史や地域課題、同地域や近隣で活動するアートスペースについて「知る」こと。②現地でのリサーチを行い、地域課題を実際に「感じる」こと。③上記で得た知識や経験をもとに、より詳細なリサーチへと展開させ、地域の抱える問題について自発的に「問う」こと。さらに、④リサーチの結果をもとに地域のあるべき未来像を実現するための「挑戦」として、作品などの制作に還元すること。以上4点に重点的に取り組むことにより、「地域で学び、地域で活躍できる人材」を育成する。

【プロジェクトでの成果等】

本プロジェクトでは、地域を「知る」ために東千田町にアートスペース「The Pool」を運営する香村ひとみ氏と協働し、東千田町やその近隣で活動するアートスペースや企業、団体などを視察し、地域の現状や魅力について「知る」ことから始めた。特に東千田町周辺には被曝建物なども点在し、広島歴史を知る場所としては、多くの貴重な資料が地域資源として存在している。また今年度から、東広島キャンパスにある広島大学の法学部が東千田キャンパスに移設された。28年ぶりに広島大学が東千田に戻り、地域にも人の流れの大きな変化が見られた。

このような状況も含め、地域を実際に訪れ、現地調査を行った。知識だけではなく現状を実際に体験することにより、地域課題についてより理解を深めることができた。また、アートスペース「The Pool」での展示を訪れたり、アートスペースの運営者に話を聞いたりする機会などを設け、リサーチと合わせ、実際に東千田の歴史や地域課題について「感じる」機会をつくることができた。このようなリサーチ（＝知る）と現地での活動（＝感じる）で得た知識と経験をもとに、東千田の現状について「問う」こと、さらに将来にむけた「挑戦」として作品の制作に取り組んだ。様々な地域資源やそれらを支える人達に会うことより、好奇心を原動力とした自律的で創造的な学びを作り出すことができた。

これらの作品は、東千田町のアートスペース「The Pool」で展示し、新たな地域創生の一歩とすることができた。なお、展示のタイトルは参加学生との話し合いにより「千田町レインフォースド・コンクリート」とし、企画についても参加学生が主体的に決め、下記の企画文を書き上げ、チラシなどに掲載した。（展示の様子などの写真は添付資料を参照）

展示タイトル並びに企画文

「千田町レインフォースド・コンクリート」

江戸時代末期から明治時代にかけて生きた千田貞暁は、今から約140年前に広島県令（県知事）として広島に赴任し、当時は画期的な技術だった人造石、すなわちコンクリートを用いて宇品港（現在の広島港）の築港工事を主導した。彼の期待とは対照的に軍用港としての役割を担うことになったが、彼の名は、広島市中区の「千田町」として残っている。

現在の千田町を歩いてみると、鉄筋コンクリート（RC：レインフォースド・コンクリート）構造だったために戦中、倒壊を免れた広島大学旧理学部や旧広島赤十字病院の建物、また近年建てられた鉄骨鉄筋コンクリート（SRC：スチール・レインフォースド・コンクリート）構造の超高層マンションを見ることができる。それぞれの時代を象徴する場所や建物が生まれる様子は、鉄筋コンクリートが町の中でうごめき続けているようでもある。同時に、そこではさまざまな世代の人々が暮らし、人間以外の動植物たちも生きている。さまざまな有機的、無機的要素からなる千田町は、まるで一つの生き物として存在し、代謝し続けているようだ。

今回のグループ展「千田町レインフォースド・コンクリート」では、不断にゆらめく千田町の輪郭と、その中で変わることもない町の姿を、それぞれの視点や手法を通して捉え、作品や物語として表現する。

2023年度 東千田アートプロジェクトレポート別紙（展示記録）

千田町レインフォースドコンクリート

会期：2023年8月2日（水）～8月8日（火）

開廊時間：13:00～18:00 ※会期中無休

オープニングレセプション：8月2日（水）18:00～

20:00会場：THE POOL（広島市中区東千田二丁目

13-18）共催：THE POOL

監修：古堅太郎、石松紀子、長坂有希、手嶋勇氣

企画協力：香村ひとみ（THE POOL）

写真撮影：浅野堅一

参加作家

大部千尋（おおべ ちひろ）

田中耀聖（たなか ようせい）

津田もも（つだ もも）

長谷川遥乃（はせがわ はるの）

堀口智尋（ほりぐち ちひろ）

Vanessa Schiwietz（ヴァネッサ・シーヴィッツ）









